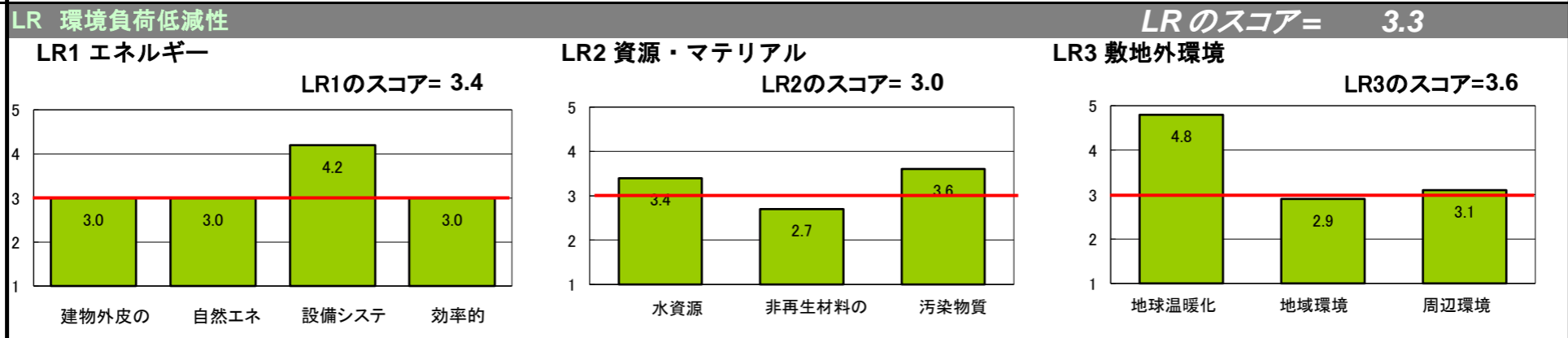
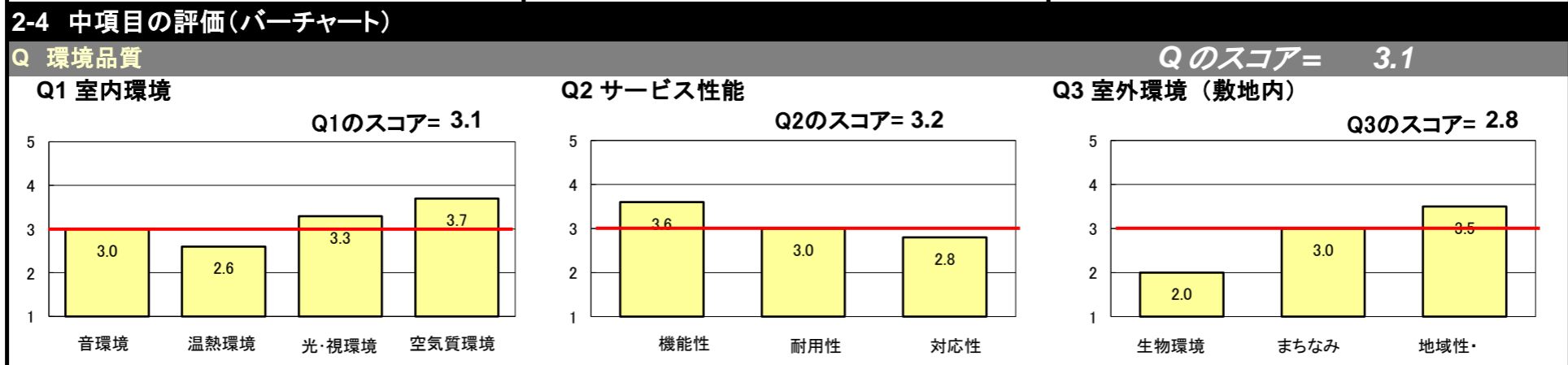
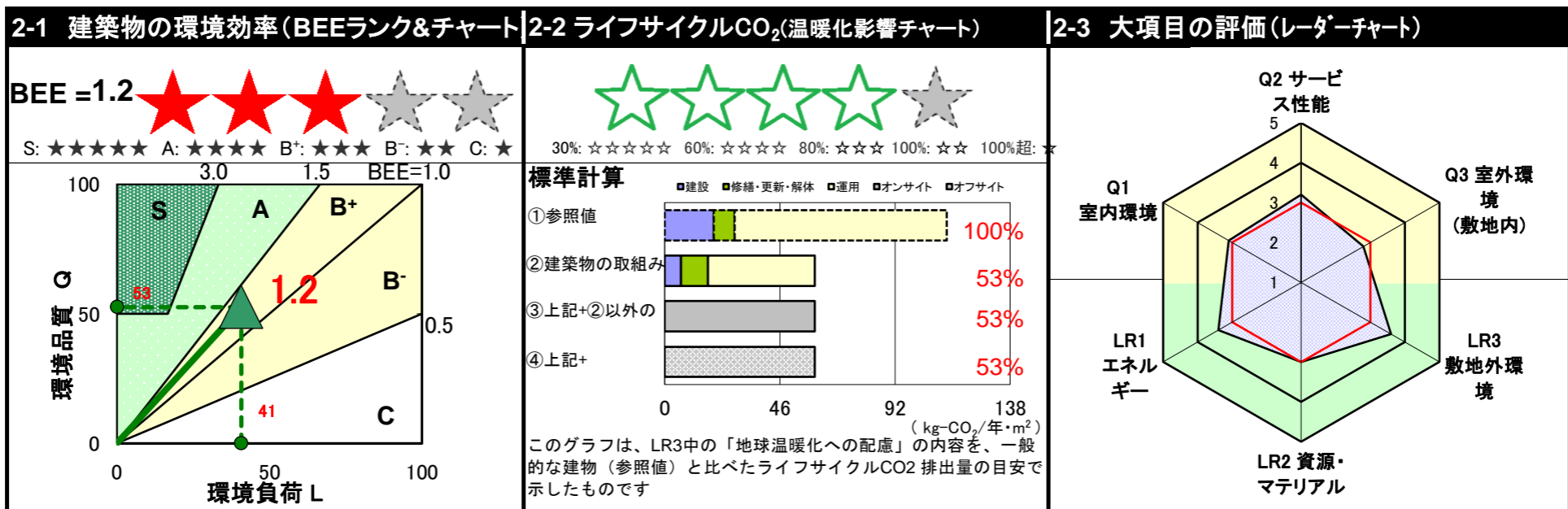


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレーア岩倉市下本町	階数	地上13階・地下0階
建設地	愛知県岩倉市下本町下市場147番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	132人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	682 m ²	作成者	長井 富美男
建築面積	300 m ²	確認日	2020年7月1日
延床面積	2,934 m ²	確認者	長井 富美男



3 重点項目

<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.8</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>27.3 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>2.8</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル		0.1	3.0	0.15	3.1	3.1	1.00			3.1	
1.2 遮音		0.5	3.0	0.50		3.2	0.50				
1 開口部遮音性能			3.0	1.00		3.0	0.30				
2 界壁遮音性能						3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	<住居>Lr=50					4.0	0.20				
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御		0.3	1.3	0.35	3.0	3.0	1.00			2.6	
1 室温		0.5	1.7	0.50	3.0	3.0	1.00				
2 外皮性能		3.0	1.0	0.63							
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.38		3.0	1.00				
2.2 湿度制御		3.0	1.0	0.20							
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.30							
3 光・視環境											
3.1 昼光利用		0.2	2.7	0.25	3.5	3.5	1.00			3.3	
1 昼光率		0.3	2.4	0.30	3.0	3.0	0.50				
2 方位別開口		3.0	2.0	0.60		3.0	0.50				
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.20				
3.2 グレア対策		0.3	2.0	0.30	4.0	4.0	0.50				
1 昼光制御	<共用>庇により制御。<住居>カーテン、庇を組み合わせて制御。	5.0	2.0	1.00		4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	1.0	0.15							
3.4 照明制御	<共用>明るさセンサーやタイマーにより自動照明制御。	3.0	5.0	0.25							
4 空気質環境											
4.1 発生源対策		0.2	4.0	0.25	3.7	3.7	1.00			3.7	
1 化学汚染物質	<共用><住居>全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用。	0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63				
4.2 換気		0.4	4.0	0.40	3.3	3.3	0.38				
1 換気量	<住居>建築基準法の0.5回/hに対し、1.32倍の換気量を確保。	3.0	5.0	0.50		4.0	0.33				
2 自然換気性能		3.0				3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33				
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視		3.0									
2 喫煙の制御		3.0									
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	3.1	0.40	3.8	3.8	1.00			3.6	
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60				
2 高度情報通信設備対応	<住居>各居室に電話が引き込まれ、Gbitクラスの通信が利用可能。	3.0				5.0	1.00				
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00							
1.2 心理性・快適性		0.3	3.0	0.30	2.0	2.0	0.40				
1 広さ感・景観(天井高)		3.0				3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		3.0									
3 内装計画		3.0	3.0	1.00		1.0	0.50				
1.3 維持管理		0.3	3.5	0.30							
1 維持管理に配慮した設計	<共用>防汚性のある内装材の採用、段差のない設計等。	3.0	4.0	0.50							
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50							
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	3.0	0.31						3.0	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48							
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80							
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.2	0.33							
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能評価における劣化対策等級3。		5.0	0.23							
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23							
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	0.09							
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08							
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種のうち、2種類にB以上を使用かつEは不使用。		5.0	0.15							
6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.23							
2.4 信頼性		0.1	2.8	0.19							
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20							
2 給排水・衛生設備		3.0	2.0	0.20							
3 電気設備		3.0	3.0	0.20							
4 機械・配管支持方法	耐震クラスはAクラス。	3.0	4.0	0.20							
5 通信・情報設備		3.0	2.0	0.20							

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)サンクレーア岩倉市下本町

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.8	0.10	
② 資源の有効活用				2.8
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:27.3%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)サンクレーア岩倉市下本町

計画上の配慮事項	
総合	本建物は、岩倉駅に程近い場所に計画された集合住宅である。敷地内には空地や緑地を設けて、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用し、室内空気質の健全化に配慮する。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた敷地内に出来る限り緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮する。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。
その他	